

きょうちくとう

夾竹桃

Zikei ♥ Hospital 2018

秋



Contents

- p2 メンタルヘルス講座 英国における精神科医療
- p3 外来作業療法のご案内
- p4 病棟紹介 西6病棟
- p6 アルコール外来のご案内
- p7 地域交流 慈圭病院 吹奏楽部
シリーズ発達障害④



公益財団法人慈圭会 慈圭病院
Oleander ♥ Autumn 2018



英国における 精神科医療

2016年7月から2017年9月まで英国のロンドンにあるKing's College Londonに留学をしていました。研究の傍らロンドンの地域精神医療をみる機会をいただきましたので、日本との精神医療の違いを中心にをご紹介します。

英国の医療制度

英国の医療サービスは基本的に公費負担医療であり、利用者の経済的な支払い能力にかかわらず、臨床的必要性に応じて基本的に無料で利用できます。また、ほとんどの医療機関は国立のNHS (National Health Service) により運営されており、全住民に標準的な医療が行き届くシステムが構築されています。それには、住民はかかりつけ医 (General Practitioner) に登録しておく必要があります。身体的な問題でも精神的な問題であっても、まずはかかりつけ医を受診する必要があります。そこで、専門医療を受ける必要があると判断された場合のみ紹介される形で精神科などの専門医療機関で治療を受けることになります。

英国の地域精神医療サービス

英国の精神科医療には、1980年代から地域医療サービスを充実させることで、できる限り入院期間を短くし、地域で患者さまが回復できるシステムを構築することを目標に発展してきた歴史があります。現在では地域精神医療チーム (Community Mental Health Team) や在宅治療チーム (Home Treatment Team) と呼ばれる地域精神医療を担うチームが各地に配置されており、外来医療に加えて、訪問サービスや就労支援などの包括的なケアを提供する体制が整えられています。その結果として、1980年代と比べ、入院病床数の削減や入院日数の短縮に成功し、患者さまの治療満足度も向上しているようです。

その一方で、歴史的に移民が多く、多民族・多文化・多宗教が混在する英国ならではの問題もそこにはあり、貧困、孤立、差別や大麻などの薬物の蔓延などの複雑な問題に精神医療は直面しており、日本とはまた違った生きづらさを背景に精神科的な問題が生じている側面もありました。

日本の地域精神医療のあり方

トータルで見ると日本の精神医療の質は決して英国に劣るものではないと感じましたが、前述の通り英国では患者さまの回復を地域で応援する地域精神医療の体制が確立されており、地域医療のあり方に関しては日本が参考にすべき点も多いと感じました。地域で患者さまの回復を支えていく体制を皆で連携して作り上げていくことが重要であると思います。

病棟医長 吉村優作 [2018年6月2日開催]





外来作業療法のご案内



「外来作業療法」って何ですか？

作業療法は、「作業活動を行うことで患者さまの心身の健康や幸福を回復・増進するために行われる、精神科では大切なリハビリテーションの一つ」です。ここでいう作業とは、その人にとって大切なすべての生活上の活動をさします。

「外来作業療法」は「通院の形で提供される作業療法」です。

慈圭病院の外来作業療法では、どんなことができますか？

手工芸・読書・学習など、それぞれの患者さまと話し合っ、好みの過ごし方や活動を選んでいただいています。また就労など、特定の目標がある方は、目標を達成するために必要なプログラムを計画して提供しています。自分の過ごし方が見つからない方には、アドバイスをしています。

どんな人が利用されていますか？

疾患も年齢もさまざまです。以前は統合失調症の方の利用が主流でしたが、最近は発達障害の方の利用も増えています。現在は1日平均7名くらいの方が利用されています。



外来作業療法でどんなことが期待できますか？

個々の患者さまがそれぞれの目的に応じた利用の仕方をされています。具体的な例としては、「外出の練習」「ひきこもりの防止」「安心して過ごせる場所」「ほかの人との交流」などです。リラックスできる空間で、それぞれの活動をしながら、回復に応じた、社会参加の最初のステップとしてご利用いただけます。就労を目指している方については、精神保健福祉士とも連携して、通所先の見学や訪問等の支援も行っています。

外来作業療法はいつ・どこでやっていますか？

毎週、月・水・金曜日の午前中に、病院敷地内の作業療法棟で行い、常時2名のスタッフが対応しています。利用回数や曜日は個々の患者さまと相談して決めています。

ほかの人と過ごすのが苦手な方や、物音に敏感な方については、できるだけ環境に配慮しています。

利用したいときはどうしたらいいですか？

利用は当院通院中の患者さまに限られます。利用希望の方や興味のある方は、主治医にご相談ください。



西6病棟 精神療養病棟〔女性閉鎖〕

西館6階に位置する女性の閉鎖病棟です。主に統合失調症や感情障害などの病気で回復期から慢性期といわれる状態の方が療養されています。また、精神科救急病棟の後方支援病棟としての役割も担っており、救急病棟からの転入や入院も受け入れている病棟です。

病室は大部屋9室と個室が8室あり、病床数は55床です。スタッフは医師1名、看護師18名、介護福祉士3名、看護助手3名、作業療法士1名、精神保健福祉士1名で全員女性のスタッフで構成されています。

患者さまの年齢や入院期間、目標も様々で患者さまそれぞれに違いがあります。私たちは、安心を提供できるよう療養環境に配慮しながら、患者さまの個性を大切に、生活の質の向上や、その方にあった社会復帰の形を提供できるよう多職種で取り組んでいます。スタッフ全員での「チーム医療カンファレンス」を軸に、それぞれの職種が専門性を生かしたケアや支援を提供させていただいています。

チーム医療カンファレンス

チーム医療カンファレンスには、医師・看護師・介護福祉士・看護助手・精神保健福祉士・作業療法士・薬剤師が参加し、個々の患者さまについて疾患や個性など全体像を共有し、今後の治療や支援の方針を確認して、各スタッフが連携して患者さまに総合的な支援ができるようカンファレンスを行っています。



精神保健福祉士は、患者さまやご家族さまが抱える様々な問題の相談窓口であり、経済的な問題への助言や利用できるサービスの情報提供をさせていただきます。また、他の医療機関や地域の施設・支援機関といった患者さまの療養や社会復帰に必要なサービスと患者さま・病院とをつなぐ要としての役割も担っています。施設の見学や体験外泊への同伴といった支援も作業療法士等のスタッフと協働して行っています。



チーム医療カンファレンス

それぞれの職種の専門性を生かしたケアや支援



介護福祉士は、食事や入浴、排泄などの介助を通して、患者さまの安心・安全と生活の質が向上するよう支援しています。



介護福祉士 モーニングケア

作業療法士は、患者さまのリハビリテーションの中心的役割をはたす職種として、レクリエーションの提供や作業療法による患者さまの能力の維持・向上に取り組んでいます。主なプログラムとしては、手工芸を行う「クラフト」、音楽やビデオ鑑賞、散歩やスポーツ、また、女性病棟ならではの活動として「フラワーアレンジメント」や身だしなみやアロマを使用したリラクゼーションを行う「シンデレラ教室」などを行っています。

写真のフラワーアレンジメントでは、「季節を感じることができてうれしい」「お花がかわいくて癒される」などの感想が聞かれ、今年9月からは、外来や薬局にも作品を飾らせていただけることになり、スタッフからの「好評でした」の言葉は患者さまの自信にも繋がっています。

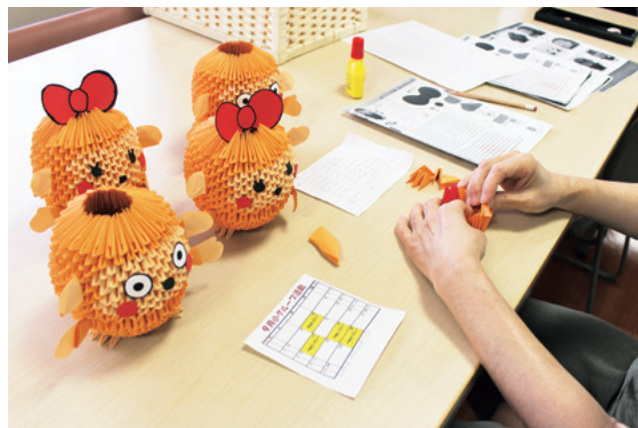
看護助手は、患者さまの衣類の管理や病棟内外の清掃を行い、患者さまが快適な療養生活を送れるよう支援しています。



看護助手 衣類の管理



作成したフラワーアレンジメント



クラフトの作品

安心を届ける保護的な環境で、それぞれの患者さまの「快適な今」と「幸せなこれから」が少しでも実現できるようチーム一丸で臨みます。

～アルコール外来のご案内～

アルコール依存症について

アルコール依存症は、反復的な飲酒により徐々に飲酒量が増え、飲酒コントロールの喪失に至ってしまうもので、飲酒する人なら誰でもなりうる病気です。飲まないとい気分が晴れない、夜に眠れない、という状態から飲酒量が増え、依存症になってしまうこともあります。

依存症になると、徐々に飲酒の量や時間のコントロールが困難となり、身体的・社会的な問題が生じているにもかかわらず自力で断酒することが難しくなります。2013年の調査では、アルコール依存症の患者数は約103万人と推計されていますが、実際に専門治療を受けたのは3.7万人程度とされています。アルコール依存症を未治療のままにすると、肝硬変などの身体疾患だけでなく、うつ病や認知症を合併するリスクが高まるなど、社会生活に大きな悪影響を及ぼします。しかし、適切な治療を受け断酒することで健康を取り戻すことができる回復可能な病気でもあります。

できるだけ早期に治療を受けることが大切です。

当院アルコール専門外来の受診について

外来診療については予約制になっています。

アルコールに関することでお困りの方、アルコール依存症の治療を希望される方は、相談員がお話をお伺いします。まずは事前にお電話でご相談ください。

曜日	月	火	水	木	金	土
担当医	田中 (初診)	森 (初診)	—	—	堀井	—
		堀井	—	—	吉村	
			—	—	清水	

※初診は月曜日、火曜日の午前になります。

アルコール家族ミーティングについて

ご家族に対するミーティングも行っています。

このミーティングでは、「アルコール依存症とはどんな病気か」を学習し、家族が回復していくための家族教室です。心理士、精神保健福祉士が担当しています。本人だけでなく、ご家族の方もアルコール依存症について勉強し、本人また病気に対する理解を深めていただければと思います。

日 時

毎月第1・3木曜日 15:00～16:00

場 所

西館1階 多目的室2

*参加希望の方は、まずは事前にお電話でご相談ください。



まずはお電話でご相談ください。

問い合わせ先

TEL 086-262-1191 (医療福祉相談相談窓口)
月～金 8:30～17:30 (祝日・年末年始を除く)

地域交流 慈圭病院♪吹奏楽部♪

慈圭病院吹奏楽部は、院内での演奏をはじめ、浦安小学校金管バンドとの合同練習や、夏まつりで岡山県立興陽高校との合同演奏、他の病院や施設などを訪れ慰問演奏などを行っています。“こころの病院のサークル”として、音楽を通して地域のこころに響く活動をしていきたいと思っています。



【シリーズ発達障害④】 注意欠如・多動症

～自己肯定感を育む～

注意欠如・多動症（ADHD）は不注意症状と多動性・衝動性症状がみられる発達障害の1つです。多くは小児期に発見され、一般的には子どもの時は多動性が目立ち、おとなになると多動性が目立たなくなるために相対的に不注意が目立つようになると言われています。頻度は20人に1人程度で、男女比は男児のほうが女児よりも多い傾向にあります。

子どもでは「授業中でもじっとできず、席を立つ」「列に並んだり、順番を待つたりするのが苦手」「宿題に集中できない、間に合わない」「遅刻が多い」などで同級生や先生とも上手くいかず、不登校になる場合もあります。おとなでは「約束をすぐに忘れる」「優先順位を考え、計画を立てられない」「他の事を考えていたりして、会議中に寝てしまつ」「片付けができない」

などで職場や家庭内で不適応を起す場合があります。周囲の人からは「わがままで、やる気がない」と思われたり、「信頼できない、能力が低い」と誤解され、叱られることが多く、その為に自信をなくしたり自分を責め、実際に不安や抑うつなどの精神症状・二次障害が現れたり、周囲に反抗したり、反社会的な行動がみられる場合もあります。また、何かへの過集中、のめりこみ、依

存傾向が問題になる場合があります。子どもではゲームやインターネット、おとなではそれに加えてアルコールや薬物、ギャンブル、買い物などへの依存が問題になる場合があります。

支援や治療としては、困りごとを少しでも軽減できるような環境調整（分かりやすいメモを取る工夫、注意をそらすような物を周りに置かない、本人や周囲にその傾向を誤解のないように理解してもらう等）や、二次障害への治療、場合によってはADHDへの薬物療法も行います。

ADHDの傾向のある人の中には、周囲がその傾向を肯定的に捉え、「興味のある事には集中力を発揮し、エネルギーで活動的、豊かな発想力を持つ人」として認められる事もあり、社会の中でその特性を生かし、活躍している人も少なくありません。

ADHDの予後を決めるのは自己肯定感（自分の能力や存在価値を前向きに受け入れる、こころの感覚ではないかと考えます。怒られ、非難されているばかりでは自己肯定感は育たず、自己不全感や疎外感を助長します。できない事ばかりに目を向けるのではなく、個性の幅を許容し、良い部分を見つけ、それを育むことが大切ではないかと考えます。



外来担当医師

平成30年10月1日現在

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
再 診		堀井 茂男	石津 秀樹	堀井 茂男	武田 俊彦	岡 沢郎	定期の診察は ありません
		清水 裕摩	難波 多鶴子	山内 裕子	石津 秀樹	鷲田 健二	
			武田 俊彦	吉村 優作	松下 貴紀	蜂谷 知彦	
			赤穂 千尋		北野 絵莉子		
初診外来		田中 増郎	森 秀徳	原 正吾	渡部 一予	寺田 整司	
		松下 貴紀	中村 敦俊	薬師寺 晋	山本 和明	井尾 祐子	
		池田 智香子	岡 沢郎	井尾 祐子	黒田 志保	井上 蓉子	
				青木 省三 (完全予約制)	蜂谷 知彦	本多 隆宗	
					和辻 大樹	武田 俊彦 (完全予約制)	
予約 専門外来	午前	(アルコール初診) 田中 増郎	(アルコール初診) 森 秀徳				
	午後	(ペインクリニック) 石津 友子	(アルコール再診) 堀井 茂男	(もの忘れ) 石津 秀樹 池田 智香子	(青年期) 担当医	(アルコール再診) 堀井 茂男 吉村 優作 清水 裕摩	

● 診療時間 9:00~15:00

初診/受付時間 8:30~11:00

※事前にお電話での相談・予約もお受けしています。

● 専門外来 ・アルコール ・もの忘れ ・青年期

・ペインクリニック(疼痛) ・セカンドオピニオン

※事前にお問い合わせください。(予約制)

お問い合わせ番号 (086)262-1191 お問い合わせ時間 8:30~17:30

時間外・休日の急患対応いたします。お問い合わせください。

慈圭病院の理念

わが子でも安心して任すことのできる 精神科病院

創立以来、職員ひとりひとりが、患者さまとご家族の信頼にたる病院であるかを問い続けています。

五大基本原則

1. 慈愛の医療

ひとりひとりの患者さまに、慈愛と尊敬のこころをもって快適な医療を提供します。

2. 最先端の精神科医療

急性期医療からリハビリテーション、地域医療まで、良質で、最先端の精神科医療を実践します。

3. 最高水準の医療倫理

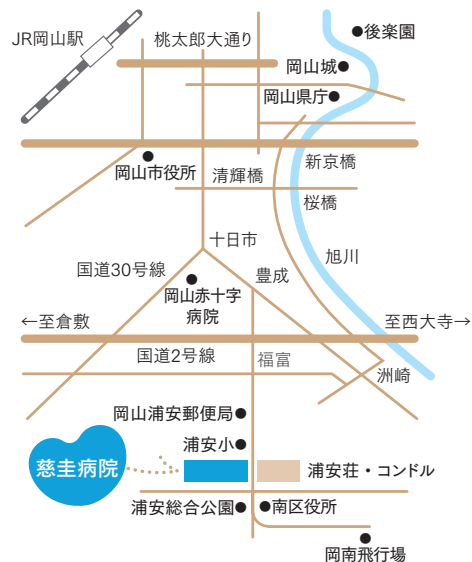
ヒューマニズムに根ざした至高の医療倫理を保ち、安全で安心、納得のいく医療を実行します。

4. 積極的な地域貢献

地域との連携を密接にし、精神科基幹病院としての役割をはたすとともに、こころの病の理解のための教育、啓発活動を積極的に行います。

5. チャレンジ精神

私たち病院スタッフは、常にチャレンジ精神を忘れず、和の力を結集し、さらなる挑戦、実践を行います。



ACCESS

JR岡山駅より南へ約8km(浦安総合公園近く)

● 車で 広島方面から 国道2号線「青江」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分
大阪方面から 国道2号線「福富」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分

● バスで 岡電バス JR岡山駅より「浦安体育館・岡南飛行場」に乗り、「慈圭病院」下車(岡山駅より約30分)

発行所/公益財団法人 慈圭会 慈圭病院 理事長・院長 堀井茂男

〒702-8508 岡山市南区浦安本町100-2 TEL 086-262-1191(代)

ホームページもご覧ください

<http://www.zikei.or.jp>

モバイル端末からアクセスするなら



ZIKEI